

ロマンは実を結ぶ

米子地方本部 米子車掌区分会

No.339

私たちは、米子車掌区分会
は、山陰を代表する特急やくも
もサンライズ出雲を始め、
スーパーおきスーパーまつか
ぜに日々乗務しています。
多くの鉄道ファンが昔ながら
の列車を見に来る山陰の地
ですが、新型やくも(273
系)導入に伴い、381系特急
やくもバイバル企画として、
2022年3月19日に国鉄色
やくも、2023年2月16日
にスーパーやくも(紫色)塗
装、2023年11月5日に(緑
色)やくも、ゆつたりやくも

（赤色）を出雲市・岡山間に
て運転し、沿線の方だけでは
なく、今までやくもに乗った
事のなかった多くのお客様に
乗車していただきます。
そしてこの度、20
24年4月6日の新
型やくもの導入では、
乗車の方から要望の
多かったFREEWI
ーFiiや座席コン
セントや荷物スペースを
完備しただけではなく、グル
ープ連れを



新型やくも273系



山陰を代表する列車に乗務する米子車掌区分会

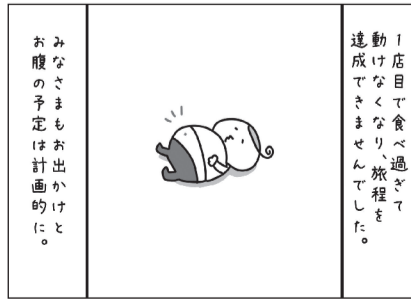
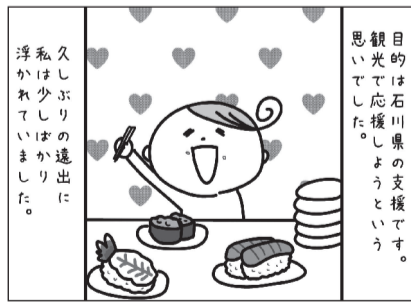
特急も社員も世代交代により更なる飛躍を!!

新しい事が始まると色々
意見も出てきます。私たち米
子車掌区分会は、2ヶ月に1
回は職場集会を開催するこ
とを心がけています。

車掌は、基本的に1人で乗
務し、始業終業がバラバラな
ため、なかなか意見を聞きに
くいこともあり、早期に
の不安不満を聞き、早期に
解決することが分会の役割
だと、分会役員全員で意思疎
通を図っています。

これからも、しっかり組合
員の意見を聞いていける分会
作りを心掛け、邁進しまし
ります。今後とも皆様よろし
くお願い致します。
〔米子地本発〕

はいまくん



追悼献花で安全を誓った
目的は石川県の支援です。
観光で応援しようという
思いでした。

- 事故の概況と対策
- 2011年4月7日(木)10時10分頃、後藤総合車両所、列車の車輪を塗装
- (1) 工事施工前、作業開始前に競合する作業の関係者周知を徹底
 - (2) 当該天井クレーンや台車塗装装置の設備の改良・見直し
 - (3) クレーンに近接する作業における禁止事項や注意事項に関する取り扱いの周知
 - (4) リスクアセスメントの仕組みの改善



女性の視点での意見集約、伝達の重要性を認識

また、上村中
央執行委員長
からの情勢説
明や、川端副執
行委員長より
「安全に対す
る講義を受け
ることで、現
場の把握と福知
山線列車事故
を新たな視点
で考える重要
な機会となっ
た。」
受講生の決
意表明では、
「女性役員の重
要性を学び、仲
間を作る」「頼
られる役員と

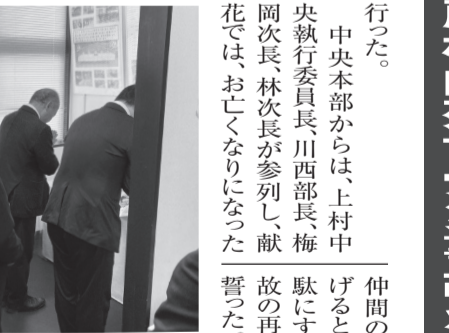


模擬団体交渉を体験

台湾鉄道工会友好訪日団
が帰国後間もない4月3日、
台湾東部沖を震源とするマ
グニチュード7.7の巨大地震
が台湾全土を襲った。被害に
遭った皆様に心からお見舞い
申し上げます。

震源から近い花蓮市の中
心に巨石が線路上に崩落す
る等、鉄道施設にも多くの被
害が発生しており、復旧工事
にあたる台湾鉄道工会の皆
様のご無事と、二日も早い復
旧復興をお祈り申し上げます。

後藤総合車両所において
後藤工業労組の組合員が犠
牲となる死亡労災事故から
13年が経過した。
米子地方本部は、4月8日
(月)、後藤総合車両所内に
ある「安全考動室」において、
中央本部、JR西日本連合
の後藤工業労組・中国メン
テック労組・山陰開発労組の
代表者と共に追悼献花を



仲間の御霊に哀悼の誠を捧
げるとともに、仲間の死を無
駄にすることのないよう、事
故の再発防止と風化防止を
誓った。

JR西労組は、引
き続き、安全確立を
最優先課題として、
「安全お守り手帳」
を活用し、取り組み
を進めていくことと
する。

JR西労組ユニオンカレッジ 第207期女性役員コース

中央本部は、4月12日(金)
13日(土)に、アイアイラン
ド(四条畷市)において、「JR
西労組ユニオンカレッジ第
207期女性役員コース」を開
催し、各地本総支部の執行
委員長から推薦された16名
の女性役員が受講した。
緊張した面持ちで集まった
受講生は、アイスブレイクにて

緊張をほぐした後、組合の基
礎知識や組合員の相談対応、
現行の課題をまとめた後に、
模擬団体交渉を体験した。
また、上村中
央執行委員長
からの情勢説
明や、川端副執
行委員長より
「安全に対す
る講義を受け
ることで、現
場の把握と福知
山線列車事故
を新たな視点
で考える重要
な機会となっ
た。」
受講生の決
意表明では、
「女性役員の重
要性を学び、仲
間を作る」「頼
られる役員と

台湾鉄道工会友好訪日団が、JR
連合と各本組への訪問が行わ
れ、交流を図った。
JR西労組エリアでの意見
交換は、3月27日に、訪日団の
金沢到着後、金沢駅をはじめ

北陸新幹線施設を中心に見
学した後、金沢地本との意見
交換を行った。
29日には、JR西労組中央
本部への訪問を受け、本年1
月1日から国有民営化とな
り、台湾鉄道株式会社発足に
向けて、台湾鉄道工会が取り

組んだ内容について報告を受
けた後、それぞれの課題につ
いて意見交換を交わすことが
出来た。
JR西労組は、引き続き、国
際連帯活動を通じて視野と
見分を広め、交流ある国外の
労組とも連携を図っていく。

台湾鉄道工会友好訪日団
が帰国後間もない4月3日、
台湾東部沖を震源とするマ
グニチュード7.7の巨大地震
が台湾全土を襲った。被害に
遭った皆様に心からお見舞い
申し上げます。

引き続き連携していくことを
確認した。
修了生の皆様の各機関での
更なる活躍に期待する。

後藤総合車両所構内死亡労災事故から13年

全部員がJR西労組組合員であるJR西日本硬
式野球部は、「第52回JABA四国大会」に出場し、
9日にレクザムボールパーク丸亀において行われた
決勝戦で、王子に3対2で勝利し、初優勝を果たし、
今秋に京セラドーム大阪で開催が予定されている
「第49回日本選手権」に、2年ぶり9回目の出場権
を獲得した。
選手は、本来業務を行いながら練習に励み、決
勝戦にて2本塁打を放つなど5試合で6本塁打と
打線の強さを見せつけて、優勝という結果を残すこ
ととなった。
今後、都市対抗予選も始まるが、JR西労組は野
球部組合員の活躍を応援する。



2年ぶりの日本選手権の出場権獲得